

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 あやめが丘 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

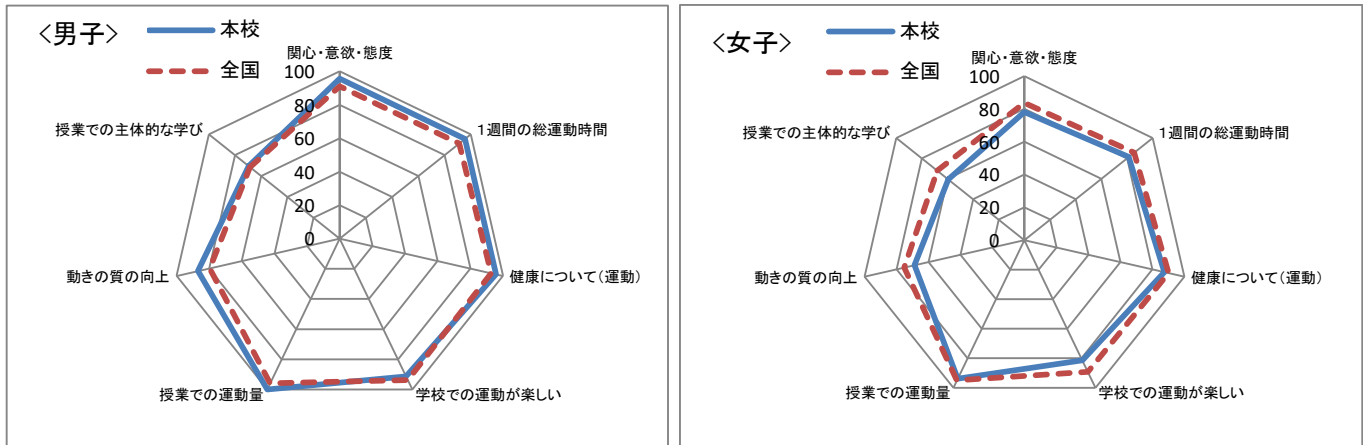
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

男子は、ほぼ全項目で全国の結果を上回っている。反面、女子は、全ての項目において全国の結果を下回っている。男女ともに「学校での運動が楽しい」の項目が、全国の結果と比較して低い数値になっている。これらの結果から、体育科の授業づくりや体力づくりのための取組が課題として挙げられる。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

運動の楽しさを味わうことのできる取組の充実。具体的には、学習中の運動量の確保や技能向上のための場づくりの工夫、ICT活用も取り入れながら友達と協力して課題解決をしていく学習展開等を行う。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- ・縄跳び運動などコロナ禍においても休み時間や体育科学習で継続的にできる取組を継続する。
- ・保体委員会主催のラジオ体操や、「おもしろ体力測定」といった取組を継続する。